

2026年
2月18日
NO.64

全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国OB会
発行人 伊藤 憲治



日本退職者連合は、2月13日制度・政策要求実現院内集会を、参議院議員会館にて開催しました。

冒頭、野田会長より、高市首相の自分勝手な、真冬の解散、総選挙により与党が4分の3の議席を確保し、立憲と公明が衆議院で結成した、中道改革連合の議席は激減しました。自民党が316議席獲得したからといって諦めず、この状態が長く続くわけではない、退職者連合は引き続き誰もが尊重される、平等社会の実現をめざしていきます。また高市政権は、武器輸出の拡大や、非核三原則の見直し、憲法改正に踏み込もうとしているが、平和・民主主義を守る取り組みを進めていくとの挨拶がありました。

連合、副事務局長より、選挙の結果については受け止めているが、諦めることはできない。春闘では、物価上昇を上回る賃上げをめざし、社会保険料の引き下げに取り組む、との挨拶を受けました。

また、多くの野党の参加者より、今衆議院選挙は、異例の選挙だった。1月の総選挙は32年ぶり厳冬期の投票、そして高市人気での短期決戦、等多くの問題をかかえた選挙となった。

野党の議席は、激減したが、国民生活を守るために、高市政権に対峙していくとの決意が述べられました。

最期に、特別国会に向けた要求を参加者全員で確認し、集会アピール【裏面参照】を採択終了しました。